

□議員名：伊場勇

1 人工内耳について

論点	人工内耳装用児の成長過程に必要となる装具費に対しての本市の理解と他市の支援状況はどうか。
回答	成長過程で買い替えが必要なイヤモールドや、電池代等の消耗品が年間に10万円程度、また耳にかける体外装置の買い替えには100万円程度の費用がかかり、県内では5市が独自に補助制度を設けている。本市では、国の制度である体外装置の買い替えや修理に対して3万円の補助のみを行っている。

論点	義務教育就学時に難聴児のための難聴学級を設置する考えはあるか。
回答	現在、市内には設置していないが、保護者からの相談があれば市の教育支援委員会で審議され、難聴学級の就学が適正であれば県に要望し、認可が下り次第、難聴学級が設置される。

論点	本市独自の補助制度の拡充に向けての考えはあるか。
回答	他の補装具と比べ、人工内耳に関する消耗品等は公的給付の対象になっていない。このことを国に要望していく事も踏まえ、「子供の成長」と「言語の成長」という観点から、本市としてできる事を真剣に考えていきたい。

2 小型自動車競走事業について

論点	非予想型くじ「当たるんです」(4重勝単勝式)の販路を積極的に拡充し、売上を伸ばすことで財源の確保になるのではないか。
回答	地方公共団体が発売する公営競技の車券であることを委託先や提携企業と共有し、投票サイト内において射幸心を過度にあおることなく、ギャンブル依存症対策をしっかりと講じながら今後も販路を拡大、新商品開発に努めていく。

論点	山陽オートレースは公営競技であり、イメージを刷新するための施設整備や取組が必要ではないか。
回答	選手会、競走会、包括契約の委託先の企業、そして地域の協力を得ながら、オートレース場を知っていただく機会の確保と新たな視点でのレース場開放によりまして、レース場の必要性や在り方も理解していただけるよう努力し、地域密着型を色濃く出せるような取組を念頭に事業を進めていく。

3 きららビーチ焼野での夏季期間中の出店許可について

論点	より多くの人を訪れる夏季期間中に、キッチンカー等の出店を許可することによる効果をどう考えるか。
回答	現在海水浴シーズンに海水浴を楽しんでおられる方が気軽に飲食等ができる、海の家のような施設はないので、その補完としてキッチンカーの出店等があれば、利用環境の向上につながると考え、出店を許可する場所も踏まえ検討していく。

論点	令和4年夏までに許可手続の体制を整備できるか。
回答	施設自体は山口県の施設になっており市に維持管理を山口県から依頼を受けている。その中で山口県とも協議をしながら、キッチンカーの出店について場所の検討、許可条件等についての検討を県とも調整しながら、今前向きに取り組んでいく。